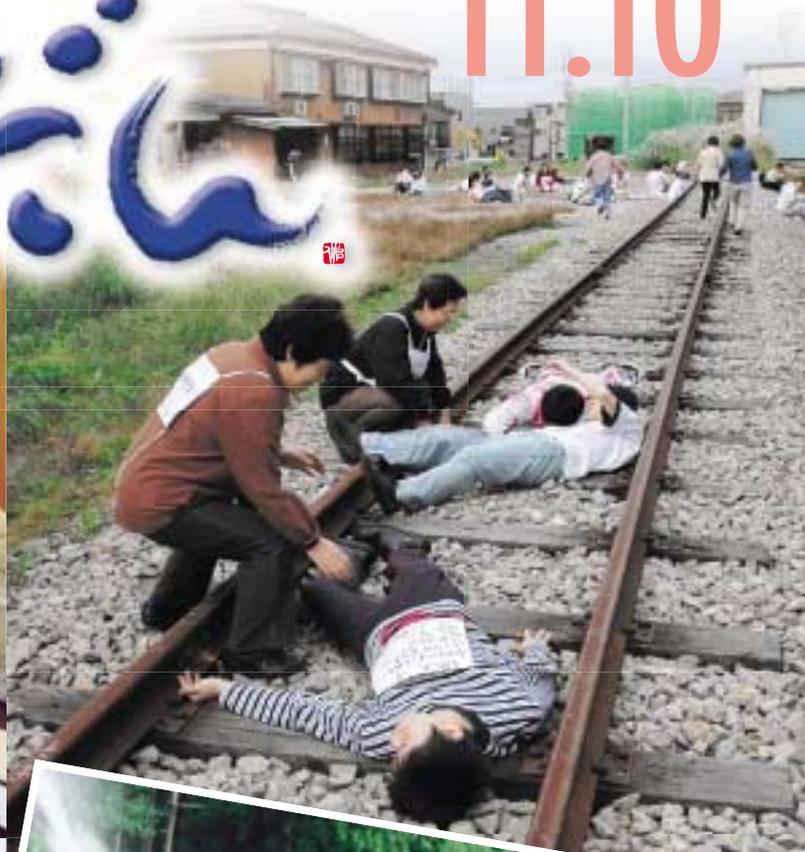


だんだん



迫真の訓練

昨年の大震災発生から1周年。「あの混乱はくり返すまい」と市役所で、駅で、病院で、町内で本番さながらの緊迫した訓練が行われました。「災害は起きてほしくない、でも起きたときどうするか」。気持ちの訓練も大切です。

左上から時計回りに災害対策本部、飯山線線路上の負傷者救助訓練、上鰯池の消火栓放水訓練、新座地区の消火訓練、十日町駅付近の負傷者搬送訓練。

主な内容

- [特集] 10.23を忘れない 2-7
- 第38回十日町市美術展 8-7
- 元気な高齢者へのサービス 10
- きちんと納めて手に入る大きな安心 国民年金 ... 12-13
- 地域の風～支所からのたより～ 14-15

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。



被害状況の報告を受ける田口市長ほか

職員は、自宅あるいは所在地で1分間の黙とうをした後、通常の通勤方法で各職場へ参集し、市役所・支所までの距離に個人差があるため、

十日町市防災訓練で市職員非常参集

10月23日(日)、市職員全員を対象にした防災訓練が行われました。

訓練は、「同日午後1時30分、新潟県中越地方を震源とするマグニチュード7・3の震度6弱の地震が発生し、全市が停電、家屋の倒壊や火災の発生、道路、橋梁などの破損、上下水道の寸断など甚大な被害が発生し、多数の負傷者が出た」という想定で行われました。

職場で町内で 全市で防災訓練実施

到着した職員から順に職務に応じた対策を行いました。

- ・ 情報収集・被害把握調査訓練
- ・ 情報伝達・応援要請訓練
- ・ 物資発注管理・受け入れ・輸送訓練
- ・ 救護所設置・避難所開設訓練
- ・ 避難所設置・運営訓練
- ・ コンピュータサーバ復旧訓練
- ・ 非常持ち出し訓練
- ・ 庁舎点検・維持訓練

本庁

本庁では、市長及び市幹部職員の到着を待って午後1時45分、田口市長を本部長とする災害対策本部、現地対策本部を設置し、全市内に避難勧告を発令しました。

組織を通常の体制から災害時の体制に再編し、各部ごとに被害状況の把握や復旧対策の検討・実施、支所や各種団体への連絡や支援要請など多岐にわたる内容を、本番さながらに訓練しました。

市役所3階の対策本部では、あわただしく机やパソコンを設置。コンピュータサーバの確認や非常持ち出し品の確認などを行いつつ、次々と入ってくる被害状況の報告確認とそ



次々に入る情報を整理する対策本部

れに対する検討・指示が矢継ぎ早に行われます。確認できた情報を掲示するとともに、災害時の連絡網やホームページ、記者発表などの手段を使って情報を発信し、実際の対策本部さながらの、緊張感あふれる場面が展開されました。

午後2時30分現在の被害状況をまとめて訓練を終了、引き続き午後3時から避難・消火訓練を実施しました。

川西支所

昨年の震災で庁舎の一部が被災した川西支所では、地震直後に災害対策本部を庁舎内に直ちに設置できな



復興イベントとして実施されたもちつき(千手郵便局前)

かったということ踏まえ、まず、庁舎内に災害対策本部を設置できるかどうかを屋外で協議。庁舎の機能を確認した後、情報伝達訓練や被害状況調査訓練などに入りました。

今回は、支所と本庁の交信に県衛星防災行政無線を用いたり、消防本部や支所管内3集落と地域振興無線を用いて通信したりする情報伝達訓練も初めて実施されました。

自主防災組織の取り組みとしては、単独で避難訓練をした集落、あるいは、複数で避難訓練をした集落、中には、バケツリレーによる消火訓練をした集落も見受けられました。

特集 10.23を忘れない

～市内全域で防災訓練実施～



昨年10月23日、十日町市をはじめとする中越地方は未曾有の大地震に見舞われました。「中越大震災」と名付けられたこの大災害から1年、各地で復興への槌音が響き、道路や上・下水道などのライフラインのほか、農地・農業施設などの復旧も順調に進められています。こうした中、10月25日(火)には市内で最後まで残っていた樽沢地区の避難指示が解除され、生活面での復興の道すじも見えてきました。

震災1周年の10月23日(日)、各地で防災訓練が実施されるとともに、合同追悼式や復興を祈念する催しがさまざまな立場、いろいろな形で行われました。

小千谷市で8市町合同追悼式

10月23日(日)、小千谷市総合体育館を会場に新潟県中越大震災1周年合同追悼式が開催され、犠牲者の遺族や自治体関係者など約700人が参列して故人のめい福を祈りました。

これは、新潟県と長岡市、小千谷市、十日町市、見附市、栃尾市、魚沼市、南魚沼市、川口町の8市町が合同で開いたもので、震災で尊い命を落とされた51人(うち十日町市9人)を追悼するとともに、復興への誓いを新たにす

目的も含まれています。十日町市からは、遺族のほか田口市長をはじめ市関係者、高橋市議会議長をはじめ市議会議員など約60人が参列しました。

式典では、関広一小千谷市長の開式の辞に続き参列者全員で黙とうを捧げた後、森民夫長岡市長の式辞、泉田裕彦新潟県知事の追悼の辞、村田吉隆内閣府特命(防災)担当大臣の来賓の言葉と続き、遺族、来賓、主催者の代表献花が行われました。十日町市からは、遺族のほか田口市長が市民を代表して献花しました。

その後、遺族代表の言葉、小千谷市立東山小学校児童による復興への誓い、同市立小千谷小学校児童によ



黙とうをささげる参列者



献花する田口市長

る合唱が行われました。この中で、遺族代表で小千谷市の佐々木興吉さんは、「妻を失い目の前が真っ暗になりましたが、多くの人たちの支援で立ち直ることができました。これから自分の力で立ち上がり、みんなと協力して新しく強いまちづくりを進めていきます」と力強く述べました。



新座地区では救助訓練も行われました

また、川西商工会では、震災1周年復興イベントとして、千手郵便局雁木通りで、震災写真パネル展や女性部絵手紙展、もちつき、災害時移動入浴車石原裕次郎号による入浴体験なども行われました。

また、川西商工会では、震災1周年復興イベントとして、千手郵便局雁木通りで、震災写真パネル展や女性部絵手紙展、もちつき、災害時移動入浴車石原裕次郎号による入浴体験なども行われました。

中里支所

中里支所では職員による非常参集訓練を実施しました。午後1時30分に点鐘・サイレンとともに市民、職員は1分間の黙とうをささげ、その後職員は支所に自主的に登庁し、現地災害対策本部長に出動した旨を報告するとともに総務班に災害の状況について報告を行いました。

松代支所



中里対策本部の掲示板に貼られた被害状況などの情報

松代地域では、全地域一斉の防災無線によるサイレンに続いて、1年前の震災で亡くなられた方々に黙とうをささげ、続いて各集落において自主的な防災訓練が行われました。



松代区自主防災組織の本部

松代支所では、職員による非常参集訓練を実施しました。午後1時30分に点鐘・サイレンとともに市民、職員は1分間の黙とうをささげ、その後職員は支所に自主的に登庁し、現地災害対策本部長に出動した旨を報告するとともに総務班に災害の状況について報告を行いました。

自主防災組織で自主防災訓練

震災をきっかけに、各地で自主防災組織が編成され、10月23日(日)を中心に各地で自主訓練が実施されました。その一部を紹介します。

新座地区自主防災訓練

新座地区では10月16日(日)、一早く防災訓練を実施しました。新座防災防犯連絡協議会(会長・大久保強新座地区振興会長)が主催して行ったものです。

設定は、午後1時15分に上越地方で震度7の地震が発生、十日町市では震度5強を記録し水道・電気が停止したというもの。連絡協議会では約840世帯の地区を6つに分け、地震発生と同時にそれぞれ決められた一時避難所に避難、世帯の安否確認を行いました。その後、新座コミュニティセンターに移動し、センター前に設置された本部に安否・避難状況などを報告しました。

引き続き、センターのグラウンドでは、消火訓練が行われました。消火訓練では、最初にNPO法人セーフティネットぼうさいの職員が消火器の使い方を説明。続いて女性や子どもたちが「火の上の方じゃなく、根元に向けて!」などのアドバイスを受けながら、実際に燃えている炎に向かって消火器を噴射しました。

河内町防災訓練

10月23日(日)、河内町では住民57人が参加して防災訓練が行われました。河内町は、9月に町内会を中心とした自主防災組織(斎木宏司会長)を立ち上げており、今回の訓練は初めての活動となります。

区長の渡辺茂さんは、今回の防災訓練が行われ、それぞれ地区で定められた避難場所21か所に1、000人を上回る住民が参加しました。

松之山支所

中越大震災被災者に対する哀悼のため1分間の黙とうの後、支所職員が松之山支所に駆けつけ防災訓練が始まりました。訓練はまず集まった職員が2人1組で各地区へ派遣され、被害状況の情報収集が行われました。また、支所庁舎の安全が確認されるまで屋外にテントの仮本部を設置し、職員からの情報収集にあたる一方で、停電のため情報通信手段が使用できなくなった電源を確保するための発電機設置の訓練も同時に行われました。



屋外に設けられた松之山支所の仮本部

松之山支所管内では、昨年の中越大震災をはじめ、8月の天水越で発生した大規模な地すべり災害などがあつたことから、職員は人命・財産を守ることに難しさを肌で感じていました。また、今回の訓練を通して、職員一人ひとりが、災害時対応能力のレベルアップと日ごろの備えが大切だということを、改めて感じました。



炊き出しも行われた河内町

訓練について「震災のときは、町内の人に避難場所もよく伝わっておらず、また、炊き出しもできませんでした。今回の訓練では、参集訓練による避難場所の再確認のほか、炊き出しの訓練も行います」と、実際の災害時に近い訓練であることを説明してくれました。

参集訓練に続いて行われた消火訓練では、消火器の講習会と実際の消火作業が行われ、普段持つことのない消火器を手に燃えさかる炎を消しました。

最後に、炊き出しで用意された豚汁で疲れをいやし、防災訓練は無事終了しました。

室野・松代防災訓練

室野集落では5か所の避難場所、地区の委員による住民の避難確認が行われたり、チェックシートを使つての避難経路や消火栓、情報伝達方法などの確認を行つたりして、万が一を想定しての地区の防災体制を見直しました。



松代地区の避難訓練

れていました。

上鰐池消火栓訓練

上鰐池集落で住民約30人が参加して消火栓を使った防災訓練が行われました。上鰐池集落ではまだ自治防災組織は設立されていませんが、今回の全市あがりの防災訓練に合せて防災訓練を計画したものです。

訓練はまず地元消防団員から消火栓へのホースのつなぎ方や外し方について説明を受けました。その後、女性の皆さんが実際にホースのつなぎ方や消火栓の掛け方、そして放水を体験しました。ホースの扱いが難しくなったようで、消防団員につきぎ方や外し方など繰り返し指導を受けていました。参加者からは「難しかったけれど、勉強になりました」という声が聞かれ、初体験に戸惑いながらも真剣に訓練に取り組んでい



女性も防災の担い手です（上鰐池）

ました。集落総代の重野増栄さんは「女性の皆さんにも消火栓のことは知ってもらいたい機会でした」と話していました。

十日町駅西口・十日町病院防災訓練

十日町地域消防本部と十日町病院が合同で大規模な負傷者医療救護訓練・トリアージ

（負傷者を症状の程度により判別・区分すること）訓練を実施しました。設定は、午後1時31分に十日町市を震源とする震度6弱の地震が発生、十日町駅発車直後の飯山線車両が脱線し乗客多数が負傷したというもの。負傷者役は北里大学保健衛生専門学校（魚沼市）の学生35人が務め、JRや北越急行の職員、駅近隣の丸山町や稲荷町3南の住民も訓練に参加しました。

訓練ではまず、事故発生を知った北越急行職員が119番通報を行い救急車1台が駆け付けました。救急隊員は「大丈夫ですか？痛いところはどこですか？」などと線路や草むらに横たわる負傷者一人ひとりに声をかけ、症状の度合いを判別。音を聞いた近隣住民が毛布を手に駆け付け、比較的軽症の人たちの両脇を抱えて西口広場まで誘導しました。そのうちに応援の救急隊やレスキ



線路に横たわる負傷者に駆け付ける救急隊



緊迫した雰囲気十日町病院

ユ一隊が到着。救急隊は重傷者を担架で広場へ移動させ、担架の足りない分は住民が毛布に包んで運び出しました。広場の負傷者は症状の程度で区別され、重傷者は十日町病院への搬送を開始しました。さらに、十日町病院から医師や看護師が到着。医師は症状の度合いを判別しトリアージタッグ（負傷の度合いを色別に区分する札）を負傷者に取り付け、

重傷者には処置を施しました。その後、軽傷者はマイクロバスで、重傷者は救急車で次々と十日町病院に搬送されました。

十日町病院では、職員約110人が参加。地震で6病棟の壁がはがれて落下し、検査室や手術室、エレベーターなどが使用不可能という設定で訓練がスタートしました。

地震発生直後は入院患者数人をらせんすべり台や担架などを使用して施設外へ避難。玄関脇に本部を設置し、十日町駅西口広場からの負傷者を受け入れました。現地に派遣した医師が負傷者につけたトリアージタッグを目安に、救急車やマイクロバスからおろされた負傷者は次々とエリアへ運び込まれました。重症患者は一時処置がなされ、ほかの病院に転送するために玄関へ搬出したところで訓練は終了となりました。

今回の防災訓練は、市や消防関係者のほか、自主的に訓練を行った地域や職場が多くあったことが特徴といえるでしょう。こうした動きが今後も大きくなってほしいものですね。

そして、大震災1周年の節目という意味だけでなく、いつも「いざというときに」という心構えを持ってほしいものです。

全国川西に震災復興恩返し作戦を展開

中越大地震復興イベントで兵庫・奈良・山形へ

「ありがとう川西がんばります川西」



川西商工会青年部部长 渡 貫 文 人

昨年10月23日、全国川西商工サミットが新潟県川西町（当時）を会場に開催されました。わざわざ遠方からお越しいただいた兵庫県川西市、山形県川西町、奈良県川西町商工会の皆さんは、そこであの巨大地震に見舞われまし

た。突然の大災害で、サミットの日程はすべてキャンセルとなり、皆さんには急ぎよ帰っていただくことになってしまいました。



したいとも思っていました。今回、当青年部では震災のときにお世話になった3市町に、お礼の意味と新潟の復興を祈念し、震災復興イベントを企画しました。10月8日（土）に奈良県川西市、15日（土）に山形県川西町、23日（日）に兵庫

で元気になってきている様子を伝えてくるつもりでしたが、3市町では「大変だったんでしょ」「がんばってネ」などあたたかい言葉をかけていただき、また一段と励みになりました。

このイベントを企画してみて、同じ「川西」という地名の縁だけでも、とても愛着や親近感を感じました。各地域の皆さんが「新潟の川西のために何かやるよ」という気持ちになってくれたのも少しわかった気がします。もしかし

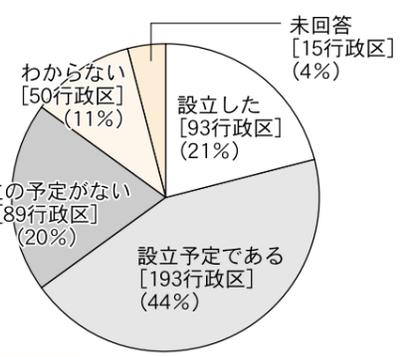
たらこういことがネットワークであり、災害時相互応援協定の本来の姿なのかもしれません。われわれ十日町市民も、もしも何かあったときには、この震災の経験を生かして行動したいものです。

今回の催しを通して、あの地震の甚大な被害と、その恐怖を克服して前向きに前進していく地域の人たちの力強さを再認識しました。

震災の完全復興はまだまだですが、皆さんといっしょに頑張っていきたいと思えます。

●自主防災組織・防災訓練のアンケート結果

9月12日～26日に実施した自主防災組織などについてのアンケート及び10月7日～11月4日に実施した防災訓練の実施状況アンケートの主な結果についてお知らせします。これからも組織設立及び防災訓練の実施など、すべての行政区のご協力をお願いします。



自主防災組織の設立状況

各行政区を対象にしたアンケート結果（10月21日現在）

合計65%の行政区が自主防災組織設立の取組みをすでに行ったか、今後取組む予定との回答でした。

回答率 96%
(423/440行政区)

防災訓練の実施状況

防災訓練などを実施した行政区を対象にしたアンケート結果（11月4日現在）

10月23日に実施した……………117行政区
異なる日時に実施した……………13行政区

第38回

十日町市美術展

問合せ
中央公民館
☎757-5011

第38回十日町市美術展が10月22日(土)〜25日(火)の4日間、市民体育館で開催されました。8部門に281作品(日本画20、洋画45、版画15、現代美術7、彫刻3、工芸23、書道55、写真113)の応募があり、審査の結果、81作品が入賞に輝きました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

日本画

市展賞 「追憶」
山賀光也(小千谷市)

新潟日報美術振興賞
関川捷次(小千谷市)

合併記念賞
横田ハル子(小千谷市)

佳作 内山美恵子、濁川はる、久保田光子

洋画

市展賞 「旅の記録」
福原美恵(津南町)

※作品は右下

奨励賞 関口耕二(袋町中)

庭野孝枝(本町7-2)

庭野雪子(田中町本通り)

新潟日報美術振興賞
山口清治(湯之島)

合併記念賞
長谷川キセ(下条本町)

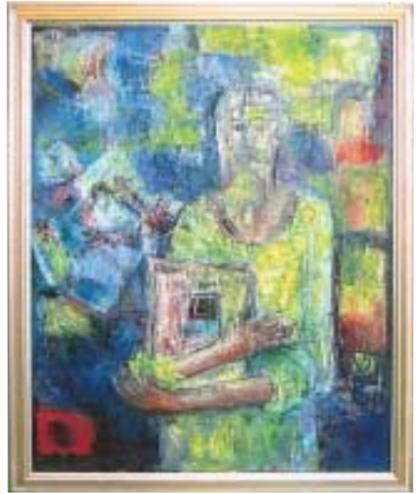
佳作 水落安子、近藤忠男

現代美術

奨励賞 中林辰男(西寺町)

合併記念賞
細井一貞(本屋敷)

佳作 生越祺三



高橋文子、櫃間敏夫、角山正、細井一貞

版画

市展賞 「蒼の里」
阿部松三(大黒沢1)



奨励賞 樋口一孝(四日町3)
漆原祥子(小千谷市)

佳作 水落安子、近藤忠男

彫刻

奨励賞 越村暢夫(新座4-2)

佳作 井上貴博



奨励賞 大口貞信(松代)
新潟日報美術振興賞
田口良平(木落)

合併記念賞
羽鳥吉夫(浅之平)

佳作 清水好和、松本山丹、細貝昭平

書道

市展賞 「霧雨の中」
小川和恵(津南町)

写真

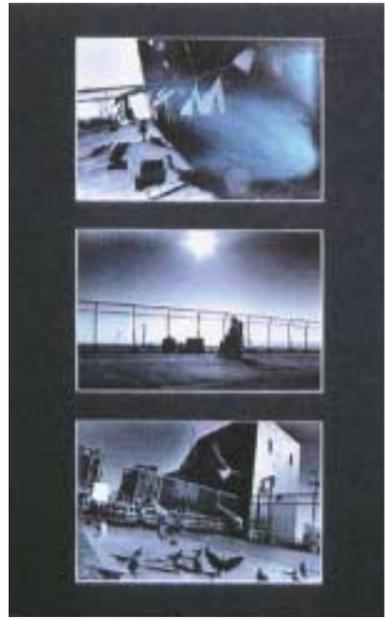
市展賞 「屋上」
佐藤昭二(南魚沼市)

※作品は左

奨励賞 岡村義一(北新田3)

樋口伊良(松代)

田中真治(春日町1)



新潟日報美術振興賞
高橋金治郎(田川町1)
若山文雄(南魚沼市)

合併記念賞
山岸守二(霜条)

佳作 村山栄一(新座1)
山本明夫、石川哲司、根津正喜、池田広吉、桜沢正司、須藤 功

山賀正伸、桜沢 基、高橋健吉郎、富沢俊久、関谷八郎、鈴木耕治、田村正夫、村山晴好、滝沢好美、水落秀夫、細井一貞

工芸

市展賞 「パキパキ花器」
村山大介(伊達3)



奨励賞 金井正一(水沢1)

星名好男(川治下町2)

新潟日報美術振興賞
五十嵐江美子(小荒戸)

合併記念賞
佐藤貞夫(室野)

佳作 市村久子、村山和宏、米持義一

奨励賞

鈴木益蔵(松代)

高野義男(松代)

小川 隆(四日町新田2)

小川貴史(津南町)

桑原洋子(錦町1)

新潟日報美術振興賞
庭野美奈子(本町6-3)

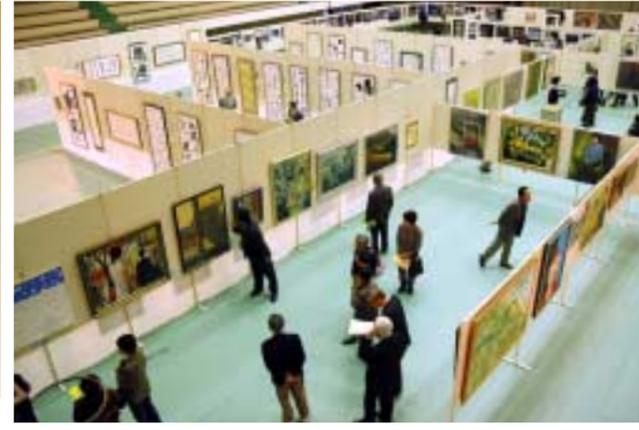
合併記念賞
大淵増市(千代田町)

佳作 平賀良尊、宮沢礼子、中林喜子、田口節子、上村ナホ、鈴木敏書、富沢正和、和田良一



気合いで消火!

10月23日(日)に行われた消火訓練の1コマです。消火器を構え目標一点を凝視する職員。うしろで見守る職員の期待?を一身に受けて消火開始!あれ、消火剤が出ません。
実はこの消火器は、スクリーンに映し出された火をレーザー光線で消す「消火模擬訓練機」。真剣な表情で一心不乱に消火活動を行った結果、リミットの20秒以内に消火、拍手がわきあがりました。
実際の場面ではさらに冷静・迅速な行動が求められます。もっとも、そうならないための備えが一番大事ですが…。





第2回行政改革推進委員会の様子

市では、合併を機に新しいまちづくりに取り組んでいます。今年、行政と市民の協働によるまちづくりを基本方針とした総合計画を策定しています。また同時に、計画を実践する体制作りのために新しい行政の仕組みの創造に取り組んでいます。9月には市民の皆さんによる行政改革推進委員を組織し、10月からは具体的な審議が始まりました。18年3月にはパブリックコメントを経て最終的な大綱が決定する予定です。審議の経過や関係資料は順次、市のホームページに掲載していきます。

また、市民の皆さんから行政改革に対する意

〓ご意見をお寄せください〓 行政改革の取り組みが始まりました

行政改革推進委員		
	氏名	公募
委員長	中林 英雄	公 募
副委員長	高橋 直栄	
委員	佐野比呂史	
"	池田 泰介	
"	井之川 万樹	
"	小林 重則	
"	清水 美代子	
"	村山 詔平	
"	南雲 英秋	
"	高橋 宣泰	
"	島本 ひろみ	公 募
"	高橋 かずえ	公 募
"	根津 敬一	公 募
"	峰尾 二郎	公 募
"	鈴木 隆	公 募

見を募集
していま
す。封書、
FAX、
電子メー
ルのいず
れかでお
寄せくだ
さい。
申込み・
問合せ
総合政策課行政協働係(〒948
-8501千歳町3-3) ☎757
-3111(内線231)、FAX
752-4635、電子メール
sogo@city.tokamachi.niigata.jp



委員会はワークショップ形式で進められます

元気な高齢者へのサービス



高齢者が生きがいを持って、より元気に暮らしていけるよう、いろいろなサービスを行っています。現在行っている主なサービスは次のとおりです。

生きがい対応型 デイサービス

一人暮らしなどで家に閉じこもりがちな人や友だちがほしい人などが、昼食をほさんで楽しい趣味活動などを行います。

配食サービス

一人暮らしなどで調理が困難な人に、月々金曜日に昼食を届けます。

緊急通報装置貸与・ 日常生活用具給付

一人暮らしなどの人に、急に具合が悪くなったとき電話回線を利用して身近な人に知らせるシステムの貸与や自動消火器・火災報知器の給付を行います。

生活管理指導短期宿泊

老人ホームなどに一週間程度泊まって、生活習慣の指導を受けながら体調を整えます。

除排雪援助

市内に親族がいない要援護高齢者などに除排雪援助を行います。市民税の均等割以下の世帯が対象です。

自立者向け ホームヘルパー

ホームヘルパーが一人暮らしなど

新築住宅は18年6月から、既存住宅は23年5月末までに 住宅用火災警報機器の設置が義務付けられます

近年、住宅火災による死者数が急増していることや、今後高齢化により増加する恐れがあることなどから、住宅に住宅用火災警報機器(煙を感知して警報音などを発生する警報器・感知器など)の設置が義務付けられることになりました。従来、個人の自助努力を中心に考えられてきた住宅火災防火対策を見直し、住宅火災による死者数の低減を図るために消防法の一部が改正されたものです。

設置を義務付けられる対象物

戸建住宅(一軒家)、共同住宅(アパート・マンションなど)、併用住宅(店舗や工場などを兼ねる住宅)などの住宅部分。ただし、設置が義務付けられている住宅部分にスプリンクラー設備または自動火災報知設備を設置した場合は除きます。

設置場所

寝室と階段などの天井または屋内に面する壁面

施行日

新築住宅 18年6月1日以降に着工する住宅

既存住宅 23年6月1日までに設置

※既存住宅は十日町地域広域事務組合火災予防条例による

16年中の全国火災発生状況

16年中の全国出火件数は60,387件でした。建物火災は33,325件で、このうち住宅(一般住宅、共同住宅、併用住宅)火災は18,687件発生しました。

火災による死者は2,004人でした。住宅火災による死者は1,009人(放火自殺者などを除く)で、このうち65歳以上の高齢者は570人、56.5%を占めています。また、住宅火災での経過別死者数は、逃げ遅れが633人とこちらも全体の半分以上となっています。

※消防だより「火の用心」で詳細をお知らせします。

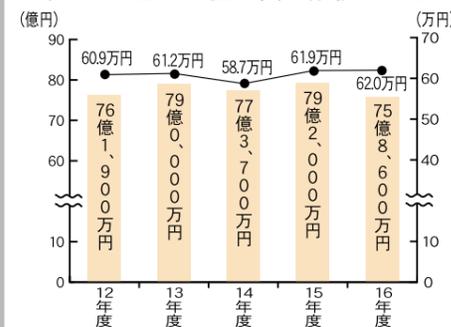
問合せ 十日町地域消防本部予防課 ☎757-1557

ご存じですか?

十日町市の老人医療費

16年度の老人にかかった医療費の総額(5市町村合計)は75億8,600万円で、15年度に比べて3億3,400万円の減額(4.4%減)でした。しかし、16年度の一人当たり老人医療費は62万円で、15年度に比べて1,000円の増額となっています。かかりつけの医療機関を決めて、医療費は上手に使いましょう。

年間総医療費の推移(億円)
年間1人当たり医療費の推移(万円)



問合せ 保険年金課国保係
☎757-3111(内線165)

寝たきり・認知症高齢者の家族支援

◆寝たきり老人等介護手当支給

寝たきりや認知症の高齢者を自宅で介護している人に、月5,000円の手当を支給します。

◆家族介護慰労事業

要介護4・5相当の高齢者を介護保険サービスを使わずに1年以上自宅で介護している市民税非課税世帯に、10万円の慰労金を支払います。

◆家族介護教室・家族交流事業

寝たきりや認知症の高齢者を自宅で介護している人に、介護知識を提

の人の自宅を訪問して、調理や洗濯などの家事をいっしょに行ったり相談を受けたりします。

供したり交流を行ったりするなど、介護の疲れをいやします。このほかにもサービスがあるので問合せください。

問合せ 福祉課高齢福祉係・おとしより相談係 ☎757-3111(内線144) または各支所健康福祉課

在宅介護支援センター

三好園	☎756-2134
つまの里	☎758-2243
きたはら	☎752-7026
やまびこ	☎750-1516
健康倶楽部十日町	☎752-7295
川西	☎768-4565
中里	☎763-2226
松代	☎595-6017
松之山	☎596-3705

きちんと納めて手に入る
大きな安心

国民年金

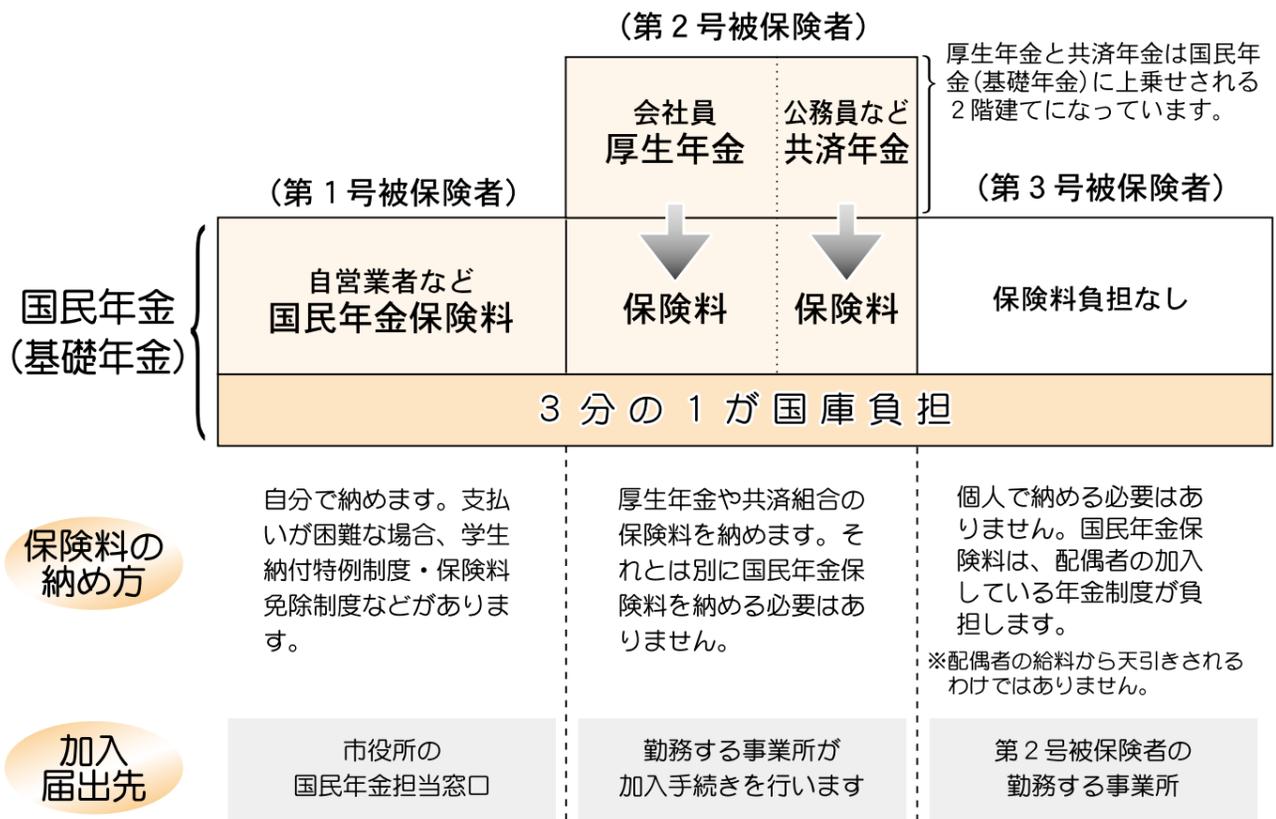
国民年金には、国民全員が
20歳から加入しなければなりません

国民年金は、高齢や不慮の事故などによって私たちの日常生活が損なわれることのないよう、前もってみんなで保険料を出し合い、経済的にお互いを支え合う制度です。そのため、20歳になったら職業や収入を問わず、必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務付けられています。きちんと保険料を納めて、大きな安心を手に入れましょう。

加入している人は
3つに分かれます

- 第1号被保険者**
■自営業者・学生など
自営業者、自由業、農林漁業、学生、フリーアルバイト、無職の人などで20歳以上60歳未満の人
- 第2号被保険者**
■会社員・公務員など
厚生年金や共済組合に加入している会社員や公務員などで70歳未満の人（65歳以上の加入者は、老齢・退職年金の受給資格を有していないに限る）
- 第3号被保険者**
■会社員・公務員に扶養されている配偶者
第2号被保険者に扶養されている配偶者で20歳以上60歳未満の人

基礎年金の負担の仕組み



保険料が納められないときは免除制度があります

『申請免除(全額・半額)』『若年者納付猶予制度』『学生納付特例制度』『未納』の違いについて

区分	老齢基礎年金を請求するとき	老齢基礎年金の金額の計算	障害・遺族年金を請求するとき	あとから保険料を納める期限	所得の審査対象	
申請免除	受給資格期間に含みます	全額	3分の1が算入されます	納付済期間と同じ扱いです	10年以内	・請求者本人 ・配偶者 ・世帯主
		半額	3分の2が算入されます			・請求者本人 ・請求者の配偶者(20~29歳の加入者)
若年者納付猶予制度	受給資格期間に含みます	算入されません			学生本人の所得(前年所得が141万円以下)	
学生納付特例制度	受給資格期間に含みます					
未納	受給資格期間に含みません		受給資格期間に含みません	2年以内		

保険料は忘れずに！

保険料は20歳から60歳までの40年間納めることになっています

未納にしておくと、将来老齢基礎年金が受けられなくなったり、もしもときの障害基礎年金・遺族基礎年金が受けられなくなったりする場合があります。

第2号・第3号被保険者は、必要な届出をしていれば、保険料が未納扱いになることはありません。

月額保険料は
13,580円
(平成17年度)

▲付加保険料…
第1号被保険者で希望する人が月額400円を納めます

保険料前納制度
保険料を前納すると、保険料の割

引があります。半年分前納と一年分前納があります。
保険料の納付は口座振替が便利です

申込みは、預金通帳・預金通帳届出印鑑・年金手帳を持参して、金融機関(銀行・農協など)や郵便局で直接行ってください。市役所での納付はできません。

希望により加入できる人もいます

① 日本に住む60歳以上65歳未満の人
過去に保険料の免除を受けたたり、任意加入しなかった期間があったりするなどで老齢基礎年金額が満額にならないときに、加入して年金額を増やすことができます。

② 65歳に達しても老齢基礎年金を受取るために必要な期間が足りない人
70歳までの間で年金の受給資格ができるまで、加入することができます。(昭和30年4月1日以前生まれの人に限りです)

③ 外国に住む20歳以上65歳未満の日本人

◆国民年金の届出や請求・相談は、市役所保険年金課 ☎7573111(内線167)
◆厚生年金の届出や請求・相談は、新潟社会保険事務局六日町事務所 ☎025-770-2211

ゆのこころ
湯コー米マイ心ハート

まつのやま

松之山支所
☎596-3131

芸術・文化と秋の味覚を満喫 農業祭・芸能祭にぎわう！



農業加工品は大人気

10月30日(日)、農業祭と芸能祭が開催され、約2、000人の人出でにぎわいました。鏡割りでオープンした農業祭。地元で取れた野菜販売などでは、お目当ての野菜を求めて長い行列できていました。また、新米おにぎりや手打そばの試食コーナー



採れたて野菜に長蛇の列



見事な音色が響いた琵琶演奏

ナーでは、大勢の市民が秋の恵みを満喫していました。松之山体育館を会場に開催された芸能祭。松之山文化協会芸能部による芸能発表を中心に歌舞伎の上演や特別出演の琵琶演奏などが行われ、会場を埋めた観客から大きな拍手や声援が送られていました。

駅伝大会と健康マラソンに力走

10月8日(土)、第11回まつのやま湯鳥駅伝大会が開催され、小学生、中学生、高校・一般、ゆとりの4部門に30チームが参加しました。午前9時30分に松之山体育館前を一斉にスタート。14.5kmのコースで各チームが健脚を競い合いました。途中から小雨が降りだす悪天候となりましたが、沿道に詰めかけた市民の「がんばれ」の声援を受け、選手たちは懸命にタスキつないでゴールしました。また、湯鳥駅伝大会後に行われた健康マラソンには親子連れなど258人が参加し、スポーツの秋にさわかな汗を流しました。



湯鳥駅伝大会成績【1位のみ】
小学校の部：浦田タイガース
中学校の部：スピードワゴン
高校・一般の部：俺ん家レンジ～Reverse～
ゆとりの部：カバジェロ

ふる里貸し農園で稲刈り

10月15日(土)・16日(日)の2日間、グリーンリース事業「ふる里貸し農園」の稲刈りが湯山地区で行われました。貸し農園事業は今年で第5期を迎えており、現在首都圏を中心に23組が参加しています。この日の稲刈り作業には17組94人が参加。毎年参加している人も多く、鎌を片手に慣れた手付きで稲刈りが進



められました。稲の束ね方では、「何年やつても難しいね」と貸し農園管理組合の皆さんから指導を受けていました。また、お昼には管理組合のお母さんたちが用意したキノコ汁とコシヒカリの新米のおにぎりをたん能。稲刈りの合間にはいも掘りを楽しむなど参加者は松之山の秋を満喫していました。

かわい新聞

川西支所
☎768-3111

みんなで川西の地域づくりを考えます

動き始めた地域協議会

8月29日に発足した川西地域協議会では現在、新市のまちづくりの最上位計画となる「総合計画」について検討を行っています。その内容についてお知らせします。

第3回協議会（10月22日土）

前回に引き続き、観光交流、教育文化振興、健康福祉、防災の分野についてワークショップによる意見交換を行いました。2回目ということもあり、委員の皆さんも慣れて、活発な討議が展開されました。

第2回協議会（10月11日火）

総合計画における「地域別の自立の方針」について、ワークショップ形式で検討を行いました。最初に十日町市における川西地域の位置づけ・役割及び地域づくりの方針について確認を行い、その後、具体的にこれからの川西の地域づくりを進めていく上で必要な事業・課



映される予定です。

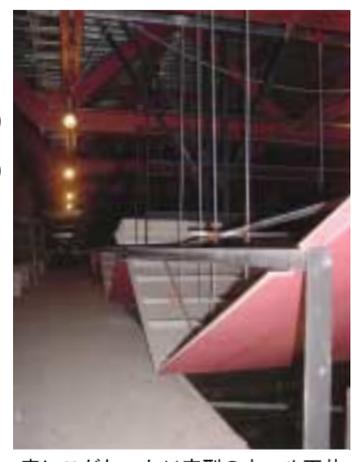
これらの意見は、11月に開催する協議会で再度検討・確認され、総合計画に反映される予定です。

お騒がせしています 工事が進む 千手中央コミセン

■静けさ・よい音・よい響き
今回は、千年の森ホールの「音」について説明します。

このステージは、歌や踊りの発表会やコンサート、演劇、映画の上映、講演会などさまざまな利用が可能です。「音」はどのような催しにも大きく関係します。よい音を確保するには、まずホール外部の音をホール内部に入れないこと。（ホール内部の音を外部に漏らさないということにもなります）

このために、ホール入口のドアは防音性能を持ち、メインの入口ドアは二重式になっています。ドア以外の部分は、厚みのあるコンクリート壁や吸音材を使い、遮音区画としています。ステージの上部は緞帳、照明、看



音にこだわったV字型のホール天井

板を下げるバトン、幕などを収納するために、高い天井となっています。ステージ上で演奏をすると、音は高い天井部分に抜けて、せつかくのよい音のすべては客席に伝わりません。そのために、このステージには「音響反射板」という設備を設けています。反射板はステージの天井部、袖舞台側を板で覆い、演奏者の音のほとんどを客席に向かって押し出す役割をもっています。これにより、生演奏のたいご味を臨場感たっぷりに、客席で楽しむことができます。施設が完成したら、客席に座って見えないステージの秘密、天井部分もぞいてみてください。

10月10日号でお知らせした、ホール専門技術スタッフを引き続き募集しています。興味のある人は、早めご連絡をお願いします。
問合せ 教育委員会川西事務所
☎768-2167



野沢 笑門 ちゃん
のざわ ほんのかちゃん
平成14年10月18日生まれ
仁田

ここにこよく笑う赤ちゃんだったから、笑門（ほのか）って名前をつけたんだって。毎日おばあちゃんとままごと遊びするんだよ。プリキュアが大好きな、いつもあいぎょういっぱいほのかちゃんです。

あそびのキッズ



春日 洵哉 ちゃん
かすが じゅんやちゃん
平成13年10月25日生まれ
樽沢

恐竜が大好き。中でもお気に入りにはブラキオサウルスだよ。長野の恐竜公園に行ったらおっきな恐竜がいておもしろかったな。お姉ちゃんのほのかちゃん、妹のなるちゃんともとっても仲良しの洵ちゃんです。

5

ときめき ネットワーク

斉木千春さん
1986年生まれ
株式会社エビススポーツ勤務
前回の丸山万里子さんからバトンタッチ

ずっと野球とかかわり続けたい

本町店は野球と陸上、クロスカントリースキーがメインで、競技者やこだわりを持った人のための専門店です。自分の得意分野だけでなく、さまざまな分野を勉強してお客様に伝えたいです。目玉商品やおすすすめ商品、新商品をいつも出せるようにしていますよ。中学・高校と野球をしていて、今も市内のチームで続けています。いろいろな野球を見ることにより、考え方も変わってきました。今は、やらされているというよりも、自分でやっています。感じて、より楽しめています。これからも、ずっと野球にかかわり続けたいです。野球をしていなかったら今の仕事もしていないし、こんなにいろんな人にも会っていません。お店に来る中学生や高校生にも、野球の楽しさを伝えていきたいですね。



ずっと地域のスポーツにかかわりたいと思い、スポーツ店に就職しました。普段の仕事は、接客と野球のグローブ・スパイクの修理などです。最初は商品知識が乏しく、何を聞かれていいのかもわからない状態でした。2年目の今は、だんだんと商品知識も増え、少しは落ち着いてきたなと思います。顔見知りのお客様も増えてきました。自分を頼りに寄って来てくれるとうれしいですね。

ひざの関節を知ろう！

ひざ関節は大腿骨（太もも）、脛骨（すね）、膝蓋骨（ひざのお皿）で構成されています。骨と骨の間には軟骨があり、関節の動きを滑らかにしたり衝撃を和らげたりする働きをしています。



変形性ひざ関節症とは？

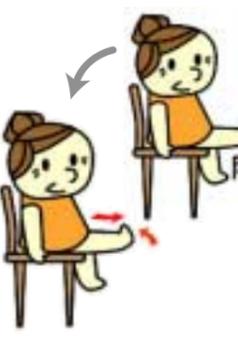
変形性ひざ関節症は、軟骨がすり減って起こる病気です。ひざ関節には歩行時、片足に体重の1・5倍、階段を上るときに3〜4倍、下るときに5〜6倍もの負担がかかります。加齢や肥満、運動不足などによってひざにかかる負担が増え、ひざを支える力が弱くなると、軟骨がすり減って滑りが悪くなります。その結果、炎症を起し痛みが起ります。軟骨の磨耗がさらに進むと、関節が変形してきます。「関節が



ひざの痛みを予防しよう！

毎日、ひざの曲げ伸ばしや左図のような適度な運動を行い、ひざ関節の柔軟性やひざを支える筋力（特に太ももの筋肉、大腿四頭筋）を維持することが大切です。

ひざの痛みを感じたら早期に整形外科を受診しましょう。また、具体的な方法がわからないときは、市の健康相談などを利用しましょう。



問合せ 健康支援課成人保健係
TEL757-3111（内線124）

予防するには？

「こわばる」などの症状から始まり、中期になると「歩き始めや立ち座りで痛い」、進行期では「しゃがめない」「階段の上り下りで痛い」「じっとしていても痛い」などの症状が出て、日常生活にも大きな障害となります。治療には薬物療法や装具療法のほか、筋力増強訓練などの運動療法があります。また、場合によっては、人工関節などの手術が必要になってきます。



みねかた 峰方地区 (旧松代町)

- 平沢 水山
- 蓬会 清桐

峰方地区は旧松代町の北部、柏崎市高柳町との市境にあります。平成元年、芝峠地区内の温泉噴出を契機に当地区での観光開発に踏み出しました。9年のほくほく線開通、15年の温泉2号井の掘削と、都市交流や田舎体験などの基盤整備がなされた現在は、交流人口の増加を招き、新市西側の交流結節拠点の役割を担う地域となっています。まつだ駅から車で5分、ブナの木立が連なる県道を走り峰方地区の入り口に差しかかると「蜀鶏」が描かれた大きな看板がたずんでいます。昭和14年に国の天然記念物に指定された蜀鶏は、土佐の東天紅や秋田の声良とともに日本三長鳴鶏として有名です。原産は中国に由来しますが、改良が重ねられた小型の長鳴鶏「越後蜀鶏」の発祥は、信越国境の山間部だと言われ伝えられています。昭和初期、県下でも飼育人数が最も多かったのは東頸城郡、これに刈羽郡が次ぐとされ、地元では地鶏や柴鶏と呼ばれてもつばら飼



蜀鶏（はく製）

育鶏として広まってきました。昭和15年に東京で開催された第1回全日本鶏展覧会蜀鶏の部で、会沢集落の故・小野島昌訓さんの蜀鶏が最優秀賞の栄冠に輝き、その後その蜀鶏は上野動物園に寄贈され国都の地で郷土の薫り高く鳴き続けたと記録されています。現在、峰方地区では蜀鶏は飼育されていませんが、山間に広く木霊し、共鳴しあうことで日本を代表する長鳴鶏をはぐくんだこの地の地理的条件は、「峰方」に象徴されるように柵田や雲海など、風光明媚な四季折々の美しさで人々を誘います。



歌とトークでつづる 農舞台紅白歌合戦

10月29日(土)、まつだい農舞台ピロティで「第3回農舞台紅白歌合戦」が行われました。この催しは、農舞台の冬の人気企画で、市内をはじめ津南町などから出場者20組が男女の紅白に分かれて、今年のテーマ「絆(きずな)」に合わせた歌とスピーチで得点を競いました。出場者の一人、NPO法人支援センターあんしんの樋口春代さんが「身体に障害のある人たちとめぐり合い支えあうことが絆になり、元気をもらえました。来年はこの素敵な舞台で大勢のみんなと感動を分かち合いたいです」と話すと、200人ほど詰め掛けた会場は大きな拍手に包まれました。また、特別ゲストに室野神楽保存会と新保広大師節保存会を招き、熟練された舞や踊りで歌合戦に花が添えられました。

tokamachi topics

再就職を支援します
10月20日(木)・21日(金)の両日、情報館で「Re・Beワークセミナー」が開催され、市内や津南町から13人が参加しました。育児や介護のため職を離れ再就職を希望する人などを対象に行われているものです。セミナーでは、初日はインターネットで求人情報を得る講習やグループワークでの意見交換を行い、2日目はエフェクティブな面接を行いました。参加者の一人は、「出産後、再就職のきっかけがなかなかつかめなかったので、大変参考になりました」と話していました。



新市をもっとよく知ろう！

旧5市町村の特徴的な施設などを巡り、より新市を知ってもらおうと、十日町市施設見学会が10月22日(土)・28日(金)に開催されました。見学会には2日間で計49人が参加、博物館や川西有機センター、芝峠温泉雲海、まつだい農舞台、森の学校キョロコ、セツ釜(22日は雨のためUモール)を訪れました。中でも、今年7月にしゅん工したばかりの川西有機センターでは、生ごみを発酵させて肥料を作る行程を見学(写真)。参加者は係員の説明に熱心に聞き入っていました。三和町から参加した女性は、「各施設とも丁寧に案内してくれて本当に勉強になりました。芝峠温泉雲海のお弁当もおいしくお湯もよくて、今度は家族を連れて来たいです」と話していました。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係(☎757-3111内線213)へ、お気軽に寄せください。

tokamachi topics



高速情報通信説明会開催中

10月24日(月)から、市内35か所で高速情報通信網整備事業の住民説明会を開催しています。内容は、十日町市の情報化のビデオ上映や高速情報通信網整備事業の説明、質疑応答などで、地上デジタル放送やケーブルテレビ事業、防災告知端末、地域内電話など、今後の生活に深くかかわる問題ばかりです。説明会は12月16日(金)まで行っています。都合のいい会場にぜひお越しください。開催期日や会場は市報10月10日号または市のホームページなどで確認してください。

力作展示や多くの催し！公民館まつり

各地域の公民館まつりが10月下旬から11月上旬に各公民館などで開催されました。このうち中央公民館では、10月29日(土)・30日(日)の2日間にわたり行われました。駐車場の飲食コーナーやフリーマーケット、金魚すくい親子連れなどで大にぎわい。もちつき大会では、テンポいい音が響き渡り、つきたてのモチをほおばりました。また、館内では、明石学級・青年学級・青少年ホームなどの講座生や利用団体による力作の展示が行われ、多くの方が足を止めて見入っていました。このほか、両日ともなつかしの日本映画上映会も行われ、文化の秋にふさわしい学びと文化の発表の場になりました。



秋のランドマークツアー

10月23日(日)、秋のランドマークツアー(なかさと清津観光協会主催)が開催されました。魚沼スカイラインの魚沼展望台をスタートし、当間山のブナ林からなかさと清津スキー場を抜ける約10kmのコース。当日朝まで冷たい雨が降っていたものの、歩き始めるとしだいに青空が広がり、雪化粧した山々も姿を現しました。市内外からの参加者は、自然観察指導員の説明に耳をかたむけながら秋の景色を楽しんでいました。お昼には、きのこ野菜たっぷり汁で秋の味覚を満喫。最後に清津峡温泉せとぐちの湯で一日の汗を流し、心地良い疲れをいやしました。



ふれあい・体験パーク

10月22日(土)、土木の日ふれあい・体験パークとおかまちくがキナーレで開催されました。11月18日の土木の日にちなみ、土木のPR事業の一環として毎年開催されているものです。恒例の建設機械や高所作業車、除雪車の試乗体験コーナーには行列ができるほどで、たくさんのお子様連れなどでにぎわいました。また、災害から1年となる今年は、3D体感装置などによる土石流体験や、昨年の震災被害状況、復旧経過のパネル展示も行われました。

子どもたちの縄文学習の成果を紹介し、郷土の縄文文化が子どもたちの感性で表現されています。●期日 11月20日(日) 12月4日(日) ●会場 博物館 ●問合せ 博物館 (☎757-5715)

**子ども縄文研究展
縄文のメッセージ・私のメッセージ**

中越大震災復興支援イベント
市聴覚障害者福祉協会
創立35周年記念講演会
●日時 11月20日(日)午後1時～4時 ●会場 情報館 ●入場料 無料 ●定員 100人 ●講師 米内山明宏氏(日本ろう者劇団代表) ●問合せ 桑原悟 (☎FAX 758-3723)

**GUIDE
催し講座**



お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

●日時 11月16日(水)午前10時30分～午後3時 ●会場 市支援センター(本町2) ●内容 作品展示、折り紙教室、紙芝居、飲

子育て支援センターくるる・支援センターエンゼル妻有 合同文化祭

●日時 11月16日(水)午前10時30分～午後3時 ●会場 市支援センター(本町2) ●内容 作品展示、折り紙教室、紙芝居、飲

●日時 11月20日(日)午後1時～4時 ●会場 情報館 ●入場料 無料 ●定員 100人 ●講師 米内山明宏氏(日本ろう者劇団代表) ●問合せ 桑原悟 (☎FAX 758-3723)

**精神保健福祉講座
認知症**

●日時 11月20日(日)午後1時～4時 ●会場 情報館 ●入場料 無料 ●定員 100人 ●講師 金子裕美子氏(ほけ老人をかける家族の会新潟県支部長) ●申込み・問合せ 12月2日(金)までに、十日町地域振興局健康福祉部地域保健課 (☎757-2400)

十日町地域面接会

531

●日時 11月17日(水)午後1時30分～4時 ●会場 クロス10 ●対象 就職を希望する人 ●申込み・問合せ ハローワーク十日町 (☎757-2407)

●日時 11月23日(日)午前9時30分(受付9時)～

**津南中等教育学校
オープンスクール**

●日時 11月23日(日)午前9時30分(受付9時)～

●日時 11月20日(日)午後2時～(開場1時30分) ●会場 市民会館 ●入場料 700円(当日800円) ※小学生以下無料 ●指揮 亀貝隆・山田好一 ●曲目 火焔ノ国宝「火焔土器」によせて、シャンソンメドレーほか ●プレイガイド イト楽器・楽器のオギノ・中央公民館 ●問合せ 生越義典 (☎757-2504)

**市民吹奏楽団
第31回定期演奏会**

●日時 11月20日(日)午後2時～(開場1時30分) ●会場 市民会館 ●入場料 700円(当日800円) ※小学生以下無料 ●指揮 亀貝隆・山田好一 ●曲目 火焔ノ国宝「火焔土器」によせて、シャンソンメドレーほか ●プレイガイド イト楽器・楽器のオギノ・中央公民館 ●問合せ 生越義典 (☎757-2504)

染織文化祭2005

●日時 11月24日(木) ●会場 クロス10 ●問合せ クロス10 (☎757-2323)

●日時 11月23日(日)午前9時30分(受付9時)～

●日時 11月23日(日)午前9時30分(受付9時)～

**協働のまちづくりを学ぶ講演会
～長野市松代町の実践に学ぶ～**

●日時 11月25日(金) 午後1時30分～3時30分 ●会場 市民会館 ●演題 「住民自治エネルギーの結集によるまちづくり」 ●講師 香山篤美氏(長野市松代町在住)(NPO夢空間松代のまちと心を育てる会事務局長) ●問合せ 総合政策課行革協働係 ☎757-3111 (内線232)

●日時 11月23日(日)午前9時30分(受付9時)～

●日時 11月23日(日)午前9時30分(受付9時)～

**食と健康と
命のつながり講演会**

●日時 11月23日(日)午前11時～午後1時(午前の部)、2時～4時(午後の部) ●会場 情報館 ●入場料 午前午後とも1,000円 ●内容 講演会・午前

紅葉の古道をハイキング

10月23日(日)、古道松之山街道を歩く紅葉ハイキング(まつだ健康ウォーククラブ主催)が行われました。ほくほく線まつだい駅から大伏城跡を経由して大伏集落までの3・7kmの道のりです。上杉謙信も通った古道松之山街道は、文化庁の古道百選に指定されており、参加者は紅葉の景色を楽しみながら歩きました。ハイキングを計画した若月忠一さんは、「自然観察指導員の松山金一さんの話を聞きながらの自然探索もいっしょ」とさわやかな汗をぬぐっていました。



北陸信越の若き経営者が十日町に集う

全国商工会議所青年部連合会第25回北陸信越ブロック大会十日町大会が10月21日(金)・22日(土)の両日開催され、北陸信越地域の若き経営者が市内に集いました。21日はクロス10で記念式典が行われ、小林均北陸信越ブロック会長(十日町商工会議所青年部選出)が中越大震災時の全国からの支援に感謝しました。その後、(株)アルビレックス新潟の池田弘会長が「新潟からのチャレンジ!アルビレックス新潟と地域活性化」と題しての記念講演を行いました。翌22日にはそば打ち体験や歴史探訪、現代アート鑑賞の3分科会やアパホテル(株)の元谷芙美子社長による基調講演が行われ、開催地テーマ「古から未来へ、ダイナミックチャレンジ!」にふさわしく、盛大な大会となりました。

十日町市文化協会連合会文化賞

第11回十日町市文化協会連合会文化祭が10月29日(土)にクロス10で開催され、地域の芸術・文化に貢献した1団体・個人8人が表彰されました。受賞者と主な功績は次のとおりです。(敬称略)



松山禮次(美雪町2・故人)

長年にわたり、地域歌謡界のリーダーとして活躍し斯道の発展と継承に尽力

大口貞信(松代・68歳)

長年にわたり、民謡協会の役員及び尺八の講師・伴奏者として斯道の発展に尽力

上村シズ(新座1・79歳)

ユーモアクラブ設立以来、同クラブの歌姫として活躍し施設の慰問などに寄与

田中澄雄(姿1・58歳)

長年にわたり、書道芸術の指導者として地域の書道界の発展と技術向上に尽力

関口英三(高田町5・82歳)

長年にわたり、地域俳壇の指導者・選者として活躍し俳句文芸の普及と発展・向上に尽力

庭野良平(本町7-1・76歳)

長年にわたり、写真作品の制作に励み指導者として斯道の発展と向上に尽力

庭野泰明(本町東1・66歳)

長年にわたり、工芸作品の制作に励み指導者として斯道の発展と向上に尽力

池田博(北原・78歳)

長年にわたり、中条「大の坂」保存会の指導者として普及と保存に尽力

十日町リコーダーアンサンブル(代表 小泉玲子)

長年にわたり、地域住民に感動を与える演奏活動を展開し各種演奏大会で活躍

●定員 各回先着10人 ●申込み・問合せ キナーレ ☎752-0117

第3回きものを楽しむ会

●日時 11月23日(勤労感謝の日) 午後1時〜 ●会場 ラポート十日町 ●参加費 5,000円(食事付) ●内容 ゲーム、お楽しみ抽選会、素敵な歌声、樋口由佳里コンサート など ●申込み・問合せ 遊楽市十日町店 ☎750-5119

新そばの会

粉をこねて自作のそばを食べませんか? ●日時 11月27日(日) 午前10時〜 ●会場 枯木又地区交流施設のつとこい ●参加費 大人2,000円、中学生以下1,000円 ●問合せ 春川修 ☎759-2216

コミュニティビジネス講座@十日町

地域を元気にする手法を学びませんか? ●期日 12月3日(土)・4日(日) 午前9時30分〜午後5時 ●会場 中央公民館 ●講師 田中 信氏(田中経営診断事務所) ●定員 先着30人 ●受講料 無料 ●申込み・問合せ 新潟NPO協会 ☎025-230

13353

ミニ子育て講座&クリスマスコンサート

おもちゃや子ども服、日用品の無料提供コーナーもあります。 ●日時 12月4日(日) 午前10時10分〜11時45分 ●会場 サンクロス十日町 ※無料託児所あり(先着15人・要予約) ●内容 10時15分〜「子育て講座」、10時45分〜「クリスマスコンサート」 ●申込み・問合せ 子育てネットワーク小幡早苗 ☎768-3740

団塊世代前後 厚生年金・雇用保険と働き方

●日時 11月22日(火) 午後6時〜8時 ●会場 サンクロス十日町 ●講師 澤野利弘氏(社会保険労務士) ●問合せ 連合新潟十日町地域協議会 ☎752-7005

「いのち・愛・人権」長岡展

【パネル展示】 ●日時 11月18日(金)〜24日(木) 午前9時〜午後6時(初日は午後1時〜) ●会場 ながおか市民センター(長岡市)

【記念講演会】

●日時 11月18日(金) 午後3時〜 ●会場 ホテルニューオータニ長岡(長岡市) ●演題 人権の時代と同和問題〜私の生きてきた道〜 ●講師 林力氏(社会学博士) ●問合せ 長岡市市民生活部生活課 ☎0258-39-2206

新潟文化祭2005 創作演劇を観る会

地域の独自性をいかして熱心に活動している劇団の成果をご覧ください。 ●会場 長岡リリックホール(長岡市) ●入場料 無料 ●問合せ 新潟文化祭実行委員会事務局 ☎025-280-5139

【11月26日(土)】

◆午後1時〜創作現代劇「雪壁(魚沼一座) ◆午後2時30分〜時代ロマンス「越の白波〜初君物語」(演劇に寄り道するかい?)

【11月27日(日)】

◆午後1時〜ミュージカル「銀ちゃんの冒険〜青い空をとりもどせ」(みつげ演劇セミナー) ◆午後3時〜創作現代劇「マンサクの花」(素人芝居大浦安)

十日町商工会議所新会館愛称募集

【募集内容】 十日町商工会議所新会館の愛称 【応募資格】 十日町市民 【応募方法】 ①郵便番号・住所②氏名③年齢④電話番号⑤愛称と理由(1人1愛称、ふりがなをつけて)を書いたはがき・封書、FAX、メールのいずれかで応募(電話不可) 【応募締切】 11月18日(金)必着 【発表】 12月上旬 【賞品】 賞状と記念品 【応募上の注意】 ※応募作品は一切返却しません。 ※同一愛称の場合は抽選で受賞者を決定します。 ※自作未発表作品に限ります。 採用作品の一切の権限は十日町商工会議所に帰属されます。



◆申込み・問合せ 十日町商工会議所(〒948-0003 本町6-1クロス10) ☎757-5111 FAX 752-6044 E-mail info@tokamachi-cci.or.jp

GUIDE スポーツ

第27回十日町新雪ジョギングマラソン

雪に負けず、雪に親しみ、新雪の中を駆け抜けてみませんか。 ●日時 18年1月2日(月) 午前8時〜9時30分受付・10時〜開会式・10時30分一斉スタート ●集合同場所 十日町中学校 ●種目

あしたは

▼震災から1年にあたる10月23日、市内の各地区や職場で防災訓練が行われました。市役所でも本番を想定した訓練が行われ、広報では被害の情報伝達や記録の担当をしました。マスコミ対応、情報を伝えるホームページの作成、当日の訓練の取材など、実際に行動することで、またいろいろなことに気づきます。現在、町内や地区単位で自主防災組織を作る動きがありますが、訓練で得たノウハウは、無駄にはならないと思います。



(優)

▼忘れられない平成16年10月23日、あの中越地震から1年が過ぎました。今年の10月23日には各地でさまざまな催しや防災訓練などが行われました。午前10時、小千谷市で開催された新潟県中越地震1周年合同追悼式。子どもたちの復興への誓いや遺族代表のあいさつには、正直くつこみあげてくるものがありました。午後からは市内各所で実施された防災訓練では、「今度はこうした方がいい」「本日はこんな風にはいかないはずだ」など、実際に体験した人でないとわからないようなことにも気が使われていました。胸に刻まれたあの日の記憶を元に、万が一に備えて真剣に行わ



(玉)

30日(水)の2日間は臨時休館します。 ●問合せ 千年の湯 ☎234-5922

土地の現況が変わったら届出を

来年度の賦課にあたって、使用状況が変更になった土地や、災害により復旧の見込のない土地がある場合は届出をしてください。またその際は、印鑑を持参し土地の地番を把握してきてください。 ●届出・問合せ 税務課土地資産課(内線111)

水沢地内踏切通行止め

珠川地区、当間高原リゾート方面へは、現地の案内に従ってう回してください。 ●通行止め箇所 県道田沢・水沢線第1水沢踏切(水沢1) ●通行止め期間 11月18日(金)まで ●問合せ 十日町地域振興局地域整備部道路課 ☎757-5825

特設人権相談所

人権で悩んでいる人はこの機会にご利用ください。 ●日時 12月6日(火) 午後1時〜3時 ●会場 下条公民館・法務局十日町支局 ●問合せ 十日町人権擁護委員協議会(法務局十日町支局内) ☎752-2575

GUIDE その他

千年の湯臨時休館日

定期点検のため11月29日(火)・

寄付ありがとう

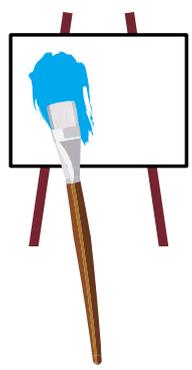
10月25日届出分まで(敬称略)

- 十日町市へ=読売新聞東京支社・読売巨人軍(300,000円) 川西にいがたライオンズクラブ(32型テレビ1台) ●地域福祉基金へ=西川恒夫(四日町2・100,000円) 川泉お客様一同(2,101円) ●国際交流・文化スポーツ基金へ=天理教北越分教会(200,000円) ●情報館へ=滝沢久一(本町1上) 福田浩一(本町7-2) 蕪木健一(本町6-1) 波形美成(四日町新田3) 田村シゲ(中条旭町) 花ヶ前盛明(上越市) ●博物館へ=斎木文夫(美雪町3) 小川貞二(尾崎) 阿部範子(四日町中原) 大久保健(新座4) 樋熊キヨ(下町) 山田郁子(水口)



発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.752-4635
 E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp 編集/総務課広報広聴係

ジュニア 芸術祭



5 清津峡小学校




山本優香さん (2年)
 キリンが好き。段ボールや空き箱を使って作ったの。穴をあけるところが難しかったけど、うまくできたんだ。おしゃれな足がしまんだよ。

おしゃれな
キリンロボット



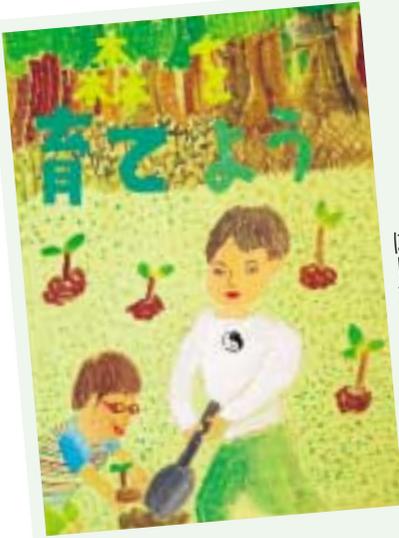

宮崎大樹さん (3年)
 ハンガーを変身させて宙に浮いているおぼけを作ったんだ。本当の目は頭の上だよ。顔の目は飾りなんだ。しっぽがうまくできたよ。

ふく面おぼけ




鈴木可南子さん (4年)
 動物たちが紅葉の中で運動している様子を作りました。ゾウが鉄棒している姿を作るのが難しかったけど、秋らしくにぎやかにできました。

森の運動場

山本寛子さん (5年)
 森がなくならないように、友だちが木を植えているところを描きました。木の特徴を考えて、葉の色は全部違う色にしました。

森を育てよう




藤ノ木はるかさん (6年)
 環境保護をテーマに山に植林するところを描きました。木の色、草の色を工夫しました。この絵のように、森がきれいであってほしいです。

森に新しい命を！

